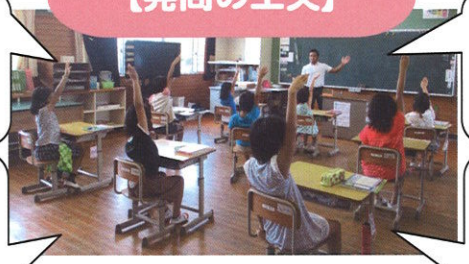
授業研究班

【発問の工夫】

「〇〇はどんな気持ちか」
「〇〇はどんなことを考えているか」
（共感的な発問）

「〇〇が～したのはなぜか」
「～から何が分かるか」
（分析的な発問）



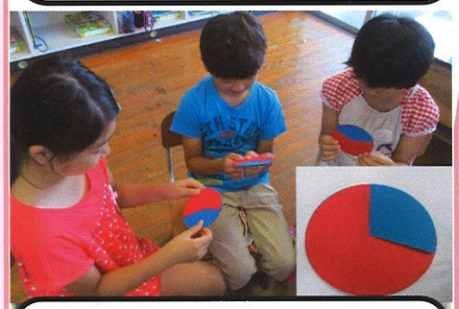
「自分が〇〇だったらどう考えるか」
「〇〇になったらどうするか」
（投影的な発問）

「〇〇のことをどう思うか」
「〇〇は本当にそうしてよいのか」
（批判的な発問）

授業の中で、これらの発問を組み合わせることによって、多面的・多角的に考えさせることができます。

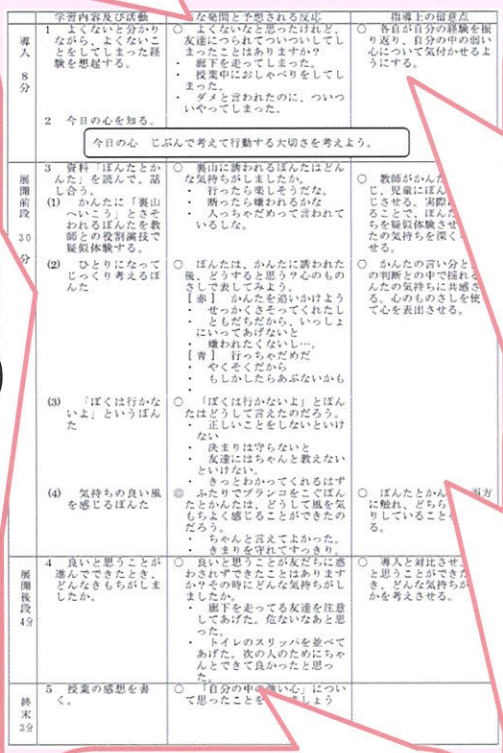
【心のものさしの活用】

主に小学校低学年で活用

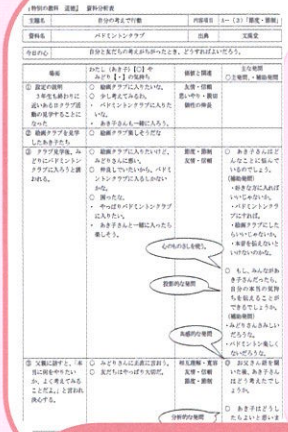


主に小学校中学年以上で活用

児童生徒が気持ちを表現する手段の一つとして、「心のものさし」を作成して必要に応じて活用しています。個人の意見を可視化し、全体で共有するとともに、その根底にある考え方や価値観にふれるきっかけとなるよう留意しています。



	学習内容及び活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入 8分	1 よくないと分かりながら、よくないことをしてしまった経験を想起する。 2 今日の心を知る。 今日の心　じぶんで考えて行動する大切さを考えよう。	○ よくないなと思ったけれど、友達につられてついついしてしまったことはありますか？ ・廊下を走ってしまった。 ・授業中におしゃべりをしてしまった。 ・ダメと言われたのに、ついついやってしまった。	○ 各自が自分の経験を振り返り、自分の中の弱い心について気付かせるようにする。
展開前段 30分	3 資料「ぼんたとかんた」を読んで、話し合う。 (1) かんたに「裏山へいこう」とさそわれるぼんたを教師との役割演技で疑似体験する。	○ 裏山に誘われるぼんたはどんな気持ちがしましたか。 ・行ったら楽しそうだな。 ・断ったら嫌われるかな ・入っちゃだめって言われているしな。	○ 教師がかんたと、児童にぼんたを疑似体験させる。実際にすることで、ぼんたの気持ちを深くさせる。
	(2) ひとりになってじっくり考えるぼんた	○ ぼんたは、かんたに誘われた後、どうすると思う？心のものさしで表してみよう。 【赤】 かんたを追いかけよう ・せっかくさそってくれたし ・ともだちだから、いっしょにいってあげたい ・嫌われたくないし… 【青】 行っちゃだめだ ・やくそくだから ・もしかしたらあぶないかも ・	○ かんたの言い分との判断との中で揺れるぼんたの気持ちに共感させる。心のものさしを使って心を表出させる。
	(3) 「ぼくは行かないよ」というぼんた	○ 「ぼくは行かないよ」とぼんたはどうして言えたのだろう。 ・正しいことをしないといけない ・決まりは守らないと ・友達にはちゃんと教えないといけない。 ・きっとわかってくれるはず	
	(4) 気持ちの良い風を感じるぼんた	◎ ふたりでブランコをこぐぼんたとかんたは、どうして風を気もちよく感じることができたのだろう。 ・ちゃんと言えてよかった。 ・きまりを守れてすっきり。	○ ぼんたとかんたの両方に触れ、どちらがよりしていることを。
展開後段 4分	4 良いと思うことが進んでできたとき、どんなきもちがしましたか。	○ 良いと思うことが友だちに惑わされずできたことはありますかその時にどんな気持ちがしましたか。 ・廊下を走ってる友達を注意してあげた。危ないなあと思った。 ・トイレのスリッパを並べてあげた。次の人のためにちゃんとできて良かったと思った。	○ 導入と対比させ、良いと思うことができたとき、どんな気持ちがしたかを考えさせる。
終末 3分	5 授業の感想を書く。	○ 「自分の中の強い心」について思ったことを書こう	



特別の教科　道徳　資料分析表			
主題名	自分の考えで行動	内容項目	1－（3）「節度・節制」
資料名	バドミントンクラブ	出典	文部省
今日の心	自分と友だちの考えがちがったとき、どうすればよいだろう。		

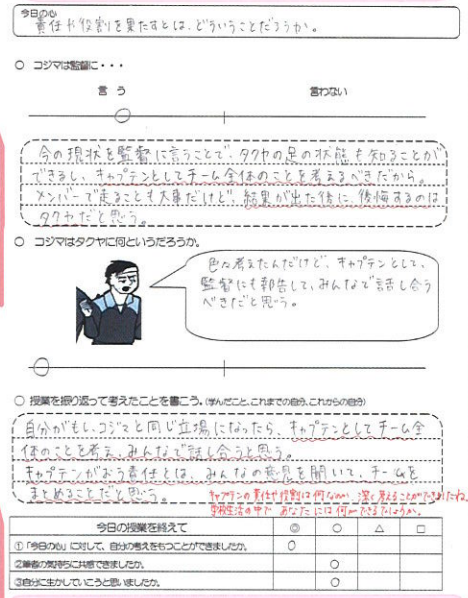
場面	わたし（あきひろ）にとって みんなにとっての気持ち	関係と関連	主な発問 ○主発問・補助発問
① 設定の説明 3年生も終わりに近いあるロッカクブ部の見学をすることになった	○ 最初クラブに入ろうか。 ○ 少し考えてみよう。 ・ バドミントンクラブに入りたいな。 ・ あき子さんも一緒に入ろう。	友情・信頼 思いやり・親切 個性の伸長	
② 最初クラブを見学したあきひろ。	○ 最初クラブに入ろうかな。		
③ クラブ見学後、みんなにバドミントンクラブに入ろうと誘われた。	○ 最初クラブに入りたいけど、みんなさそうなに思い。 ○ 仲良しっていうから、バドミントンクラブに入るしかないかな。 ○ 困ったな。 ・ やっぱりバドミントンクラブに入りたい。 ・ あき子さんと一緒に入ったら楽しそう。	友情・信頼 友情・信頼 勤労・奉仕	○ あきひろさんはどんなことに悩んでいるのでしょう。 （補助発問） ・あきひろさんは入りたいのかな。 ・バドミントンクラブに入りたい。 ・最初クラブにしたらいいこともないし。 ・あき子を誘えないといけないのかな。
			○ もし、みんながあきひろさんだったら、自分の本当の気持ちを伝えることができたでしょうか。 （補助発問） ・みんなさんはあるといだろうな。 ・バドミントン楽しくないのでしょうか。
④ 父親に話すと、本当に同じ中でやりたい。よく考えてみることだよ。と言われ決心する。	○ みんなさんは正直に言おう。 ○ 友だちはやっぱり大切だ。	相互理解・寛容 友情・信頼 勤労・奉仕	○ おひさまん君を聞いた後、あきひろさんはどう考えたでしょうか。 ○ あき子はどうしたらいいと思いますか。

「場面」「登場人物の気持ち」「価値との関連」「主な発問」の項目を表に整理した資料分析表を活用することで、より児童生徒に考えさせる授業を行うことができると考えています。

【資料分析表の活用】

【今日の心の設定】

授業で学習する価値について、児童生徒のぶれを少なくするために、「今日の心」を設定し、提示しています。価値の押しつけにならないよう工夫しています。



今日の心
責任ある役割を果たすとは、どういうことだろうか。

○ コジマは監督に・・・

言う　　言わない

今の現状を監督に言うことで、タクヤの思いの状態を知ることができるし、キャプテンとしてチーム全体のことを考えるべきだから。メンバーで話すことも大事だけど、結果が出た後に、後悔するのはタクヤだと思う。

○ コジマはタクヤに何というだろうか。

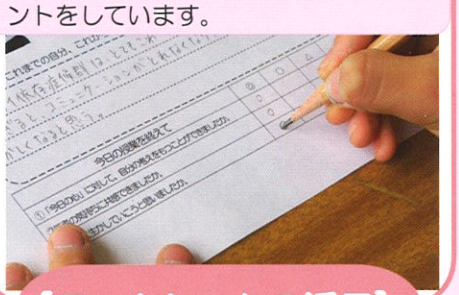
○ 授業を振り返って考えたことを書こう。（学んだこと、これまでの自分、これからの自分）

自分がもしコジマと同じ立場になったら、キャプテンとしてチーム全体のことを考え、みんなで話し合うと思う。
キャプテンがおう責任とは、みんなの意見を聞いて、チームをまとめることだと思う。

キャプテンの責任が理解は何なのか、深く考えることができたね。学校生活の中で、あなたには何ができるかな。

今日の授業を終えて	◎	○	△	□
①「今日の心」に対して、自分の考えをもつことができましたか。	○			
②登場人物の気持ちに共感できましたか。		○		
③自分に生かしていこうと思いましたか。		○		

中学校では、毎時間ワークシートを活用し、評価に生かしています。自由記述欄では３つの視点で授業の振り返りをさせ、必ず教師が意欲付けのコメントをしています。



【ワークシートの活用】